

日本心臓財団・日本循環器学会 第6回「心臓」賞  
最優秀賞 渡部智紀 助教 受賞

平成 30 年 3 月 24 日 第 82 回日本循環器学会学術集会 The 82<sup>nd</sup> Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society において日本心臓財団・日本循環器学会 第 6 回「心臓賞」授与式が執り行われ、当科渡部智紀助教が最優秀賞を受賞しました。この賞は、日本心臓財団・日本循環器学会発行「心臓」における 2017 年の年間最優秀論文に対して表彰されるものです。

以下、受賞論文名およびコメントを掲載いたします。

◇ 最優秀論文賞 / 助教 渡部智紀

Brugada 症候群における飲酒と心室性不整脈の関連性

Alcohol drinking was associated with arrhythmic events in Brugada syndrome

渡部智紀、甲谷友幸、渡邊裕昭、佐藤彰洋、小森孝洋、今井 靖、三橋武司、苅尾七臣  
(心臓 2017 ; 49 : 103-109)

「この度、日本心臓財団・日本循環器学会 第 6 回「心臓賞」最優秀賞を頂きました。習慣的アルコール摂取と不整脈発生時の低カリウム血症との関連性を明らかにし、Brugada 症候群患者の生活習慣の指導に大きな示唆を与えた点を高く評価して頂きました。このような賞を頂きましたのも、日頃より臨床および研究を支えて下さっているスタッフの皆様・先生方のお蔭と存じます。本研究を進めるに際しまして、ご助言ご指導頂きました先生方に心より感謝申し上げます。今後も日常診療から発せられるメッセージを察知しつつ、日々精進できるよう頑張りたいと思います。ありがとうございました。」

